

能代市中川原地区でワークショップを開催 ～まるごとまちごとハザードマップ作成にむけて～

国土交通省能代河川国道事務所では、能代市中川原地区を米代川流域のモデル地区としてまるごとまちごとハザードマップ※作成にむけた第1回ワークショップを12月20日(日)に中川原会館で開催します。

ワークショップでは、中川原地域住民の方々の意見を取り入れながら、地域の詳細情報を付加した洪水ハザードマップの作成および洪水標識設置の検討を官民協働ですすめていくとともに、地域の自主防災力の強化を目指します。

なお、ワークショップは、平成21年度中に計3回実施予定です。

※まるごとまちごとハザードマップとは、生活空間である市街地に、河川はん濫時の浸水深や洪水時の避難所等、地域の洪水に関する情報を洪水関連標識として表示する取り組みです。

第1回 中川原地区ハザードマップ作成ワークショップ

- 開催日時 平成21年12月20日(日) 13:30～16:30
- 開催場所 中川原会館 (住所:能代市中川原26 *詳細位置は別紙参照)
- 参加予定者 中川原地区住民、水防団、能代市、学識経験者、国土交通省能代河川国道事務所
- 内容

【避難行動に関する講話】

秋田工業高等専門学校 環境都市工学科 水田 敏彦 准教授

【ワークショップ(検討会)】

1. 避難時の心得
昭和47年や平成19年の出水の体験談等をもとに、洪水時に留意すべき点等について検討する。
2. 避難ルートの設定
中川原地区の、洪水時避難ルートについて検討する。

- 取材：
随時可能となっております。

なお、「中川原地区ハザードマップ作成ワークショップ」は計3回の実施を予定しており、第2回は1月下旬、第3回は2月下旬を予定しています。

<記者発表先>
・能代記者クラブ

【問い合わせ先】
国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
TEL 0185-70-1001(代表)
FAX 0185-70-1118(代表)
調査第一課長 平山孝信
水防企画係長 成田雅昭

(別紙) 会場案内図

